

No	24	分類	2-(1)-ア	資料名	あったかいね	学年	2年	領域	生活
----	----	----	---------	-----	--------	----	----	----	----

1 ねらい

- 自分や弟、妹の誕生のときの様子を通して、命の大切さとともに命のつながりに気づく。

2 趣旨

- 自分の成長には、家族や周囲の人々などの支えがあることに気づかせる。
- 自分の命が、父母や祖父母などつながっており、かけがえのないものだと気づかせ、自分を大切にしようとする気持ちを育てる。

3 配慮事項

- 家庭の事情などで、幼い頃の様子が分からない児童に配慮する。
- 自分からお父さんやお母さん、そして、おじいちゃんやおばあちゃんと世代をさかのぼらせながら、命のつながりと込められた願いに気づかせたい。
- おなかの赤ちゃんの動きから、小さな命の躍動を感じ取らせたい。

4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 資料を読んで、わたしが不思議だと思ったことについて話し合う。</p> <p style="text-align: center;">お母さんのおなかにふれて、なぜ不思議だと思ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おなかの中の赤ちゃんがだんだん大きくなっているから。 ・赤ちゃんが成長しているから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が体験したことや知っていることを発表させる。 ・自分の命もお母さんのおなかの中で大切に育てられた命であることに気づかせる。
<p>2 「早く生まれたらいいな、赤ちゃん」と思った時のわたしの気持ちについて話し合う。</p> <p style="text-align: center;">このときのわたしの気持ちについて考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしい。 ・早く赤ちゃんに会いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分も周囲の多くの人に期待されて、生まれてきたことに気づかせる。
<p>3 自分の誕生のことについて話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の誕生時の家族の喜びに気づかせる。 ・自分の命が、かけがえのないものであることに気づかせる。

5 参考

- 指導にあたって、『「命の大切さ」を実感させる教育への提言（改訂版）』（平成19年 兵庫県教育委員会発行）などの活用を図りたい。
- 幼稚園用教育資料『ほほえみ』『たいせつないのち』における「たいせつないのちのカード」の活用もできる。
- 展開例での参考内容
 - (1) 自分が赤ちゃんだった時のことについて発表する。
 - ・小さかった頃のことや聞いたことや覚えていることを発表する。
 - (2) 調べる活動を通して、自分の成長や回りの人の温かい支えに気づく。

《自分が小さかった頃のことや知りたいと思うことを調べに行こう。》

 - ・家族や祖父母、近所の人などにインタビューする。
 - ・乳幼児の生活用品やおもちゃを調べる。
 - ・乳幼児の食べ物を食べて、味を確かめる。
 - ・アルバムなどで幼かった頃の自分を見る。
 - (3) 自分や友だちの成長を知り、それぞれに違いのあることに気づく。
 - (4) 自分の成長の様子を本などにまとめる。